

令和2年度 授業改善推進プラン 1年

校内研究部

	児童の実態・課題分析	具体的な改善策	改善プランの評価
国語	・読み取る力、言語能力に個人差が大きい。書く分量にも個人差がある。	・挿絵や写真などを用いて、文と場面を結びつける。 ・漢字練習にも作文を取り入れ、漢字を使って書く機会を増やす。	
社会			
算数	・基本的な計算はできるが、速さに差がある。自分で分かりやすい方法を考えさせる必要がある。	・数学的活動を取り入れ、数の概念の理解や量感を育てる。日常事象を算数に取り入れながら、式に表すような授業を行う。	
理科			
生活	・植物を育てることや、昆虫探しなど、季節に応じた体験が少ないために、アイデアが出てこない児童が多い。	・自然や身近な矢川体験を多く取り入れ、季節の変化などを気付けるよう体験を増やす。	
音楽	・拍に合わせてリズムよく歌唱、器楽の活動することに課題がある。	・音楽に合わせて、体を動かすなど、いろいろな感覚を生かせる活動を多く取り入れる。	
図画工作	・何を描いたらよいかなど、発想することが苦手な児童がいる。 ・手先が不器用な児童がいる。	・手本や資料を示したり、友達の作品を鑑賞したりすることを通して、発想をふくらませる。 ・はさみを使う機会を増やしたり、はさみの使い方・切り方を提示したりする。	
家庭			
体育	・運動の経験が少なく、体幹が弱いなど基礎体力や感覚が身に付いていない児童がいる。	・準備運動で体づくりの運動を取り入れる。基礎的基本的な運動感覚を身に付けさせ、遊びの中から運動の楽しさに触れさせる。	
外国語			